

10番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 子どもの貧困対策について	<p>全国で子どもの貧困が深刻化している中、2014年1月に子どもの貧困対策推進法が施行された。国の大綱に沿って、大分県は子どもの貧困対策計画を本年3月に策定をする。本市の貧困対策についての考えを伺う。</p> <p>① 厚生労働省によると子どもの貧困率は年々増加しており、2012年調査では16.3%、子ども6人に1人は貧困という結果が出ている。本市の現況を伺う。</p> <p>② 子どもの貧困は重要な課題である。今後対策を強化していくために、支援体制整備等にどう取り組んでいくのか伺う。</p>	市長	
2 友好都市台東区との交流について	<p>友好都市である台東区と地域間交流を行い、友好を深めているが、更に幅広い交流を期待している。今後の取組の一つとして感性豊かな子どもを育むために、子どもの交流事業を検討してはどうか。市の考えを伺う。</p>	市長	
3 人口減少対策について	<p>① 2015年国勢調査の集計結果速報値では、2010年と比べて、2,854人減少、減少率は7.2%、県下14市のうち減少率の高い方から4番目という結果である。この結果をどのように受け止めているか伺う。</p> <p>② 平成25年度から着手しているオリジナル住宅構想事業の進捗状況と今後の事業展開を伺う。</p> <p>③ 移住、定住促進は、何かそこに魅力がないと成果があらわれない。外から人が入りやすくする取組など、本市をどう売り出していくか課題があるが、今後力を入れる施策は。</p>	市長	

2番 川野優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 里の旅公社の運営について	<p>① 補助金返還の責任をどうとらえているのか。</p> <p>② 市は今後補助金交付団体である里の旅公社にどう対処するのか。</p>	市長	

18番 首藤正光 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 生活保護支給について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生活保護の支給条件は。</li> <li>② 保護受給者の人数は（男女別）。</li> <li>③ これまでに不正受給者はいたのか。</li> <li>④ これまでに受給停止はしたのか。</li> <li>⑤ これまでに返還者はいたのか。</li> <li>⑥ 使途に規制はないのか。</li> <li>⑦ 受給者の他市からの移住者は何名いるのか。</li> </ul>	市長	

5番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の観光振興について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 豊後大野市の観光振興の定義を伺う。</li> <li>② 行政改革は観光予算面では、どのように改革をしたか伺いたい。</li> <li>③ 一般社団法人ぶんご大野里の旅公社の立ち位置は、どのようになっていますか。伺いたい。また、貸借対照表に記載されている正味財産は補助金の残金ではないのですか。</li> </ul>	市長	

6番 朝倉秀康 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 買物に困難な住民への対応は	<p>昨年9月から国や県は、地方創生事業を国策として展開している。本市も総合戦略を策定し、ふるさと創生事業に取り組んでいる。こうした中、第2次豊後大野市総合計画（ぶんごる）を発表した。</p> <p>この中身に、市民一人一人が住み慣れた地域で自立した生活を送れるようにすると述べている。そして、人も自然もシアワセに暮らせるまちづくりを行うとの姿勢を示している。</p> <p>そこで、質問ですが、大型スーパーの進出と後継者不足により近くにあった商店が次々と姿を消し、車を使って隣町まで買物に行かなければならなくなった今日、日々の暮らしになくてはならない日常必需品の入手が困難になりつつある。いわゆる買物難民と言われる人々への対応が一番大切であるにもかかわらず、その対応姿勢が見えないが市の見解をお尋ねします。</p>	市長	

<p>2 幻の蝙蝠滝について</p>	<p>近くにありながら聞いたことはあるが、見たことがないと語る 80 代の人、また多くの住民。朝地町上尾塚一丁目一番地にある蝙蝠滝が幻の滝と言われるゆえんである。</p> <p>この滝、大野町の沈墮の滝と同時に 2007 年 7 月 26 日に国の登録記念物として登録されていて緒方町のナイアガラの滝と異名を持つ原尻の滝と並び豊後大野市三大名瀑と称されている。</p> <p>おりしも、県や市においても地球の造形物であるジオパークと称し、周辺の地形を観光目的で売り出しているこの時期、蝙蝠の形をしていて秘境の地にあるがゆえに、市を代表するようなジオであると考え。しかも、数十年前から緒方町大久保地区、朝地町上尾塚地区の住民も開発を待ち望んでいるのです。</p> <p>本市にとって、最大の観光地になるであろうと考えるが、市の考えを再々度お尋ねします。</p>	<p>市長</p>	
--------------------	---	-----------	--

平成28年第1回（3月）定例会 一般質問

3月 8日（火）

16番 生野照雄 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 平成27年度市内の小中学校による特色ある学校づくり実践報告会について	① 市内の全小中学校が特色ある学校づくりに、各学校、情熱をもって実践報告されましたが、教育委員会として今後の取組について伺う。 ② 大野小学校がこの一年間、学校図書館について研究されたが、その成果は。 ③ 市内全学校の図書館に司書配置はできないか。	教育委員長	
2 ふるさと納税について	① 市内出身者や豊後大野市に関心の深い方による納税の現状は。 ② ふるさと納税者に本市の特産物を贈答しているが、その現状について伺う。 ③ 今後どのような取組をするのか。	市長	
3 猿による被害対策について	① 農作物、特に今回は椎茸を食い荒らす被害の状況をどのように捉えているのか。 ② 有害鳥獣のシカ、イノシシの防御は生産者がしっかりとしているが、群れで行動する猿の被害防止対策はないのか。 ③ 対策が遅れば品質、収量とも日本一の生産地、豊後大野市を守れるか危惧されるが。	市長	

9番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 豊後大野ジオパークの再認定に向けて</p>	<p>ジオパークの認定を受けて3年が過ぎようとしています。当初、認定に向けて市内の子どもから高齢者まで、ジオパークとはどのようなことで、どのような活動をと、数多くの研修会や講演会、勉強会等、市民の大きな協力の成果の下、豊後大野ジオパーク認定をいただいたと認識しています。</p> <p>認定に当たり、日本ジオパーク組織委員会から再認定までの改善指摘事項があったと聞いています。その再認定に向け、改善指摘事項はどのような指摘があったのか。また、平成29年9月に再認定をいただくに当たり、どのくらいまで指摘事項の改善が進んでいるのか伺う。</p> <p>また、祖母傾山系のユネスコエコパーク登録を目指すのにジオパークとの関連・連携が大きいものと思うが現在の進捗状況はいかがか伺う。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 市有財産（学校林）の管理体制は</p>	<p>市内の学校18校（小学校11校、中学校7校）あるが、合併以前からそれぞれの学校で学校林があり、過去の時代には児童生徒等、また保護者や地域の住民もこの学校林の下刈り作業等に汗を流し、学校の財産、地域の財産として大事に管理されていたと思います。</p> <p>しかし、現在はどのようになっているのでしょうか。それぞれの学校の先生方は2年から6年ほどで転勤し、こうした学校林への取組等が薄れていたのではないのでしょうか。学校林の場所が定かでない、存在すら知らない等の現状があるようです。早急な対応策を協議する必要があると考えます。</p> <p>これは学校だけの問題ではありません。数多くの卒業生、地域の方々の思いもあります。教育委員会、市当局はどのようにお考えか、伺う。</p>	<p>市長 教育委員長</p>	

1 番 工藤友生 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 ブランド化、販路拡大の強化について	<p>① 6次産業化の推進について、市としてこれまでの取組をどのように総括しているのか。 また、平成28年度施政方針では農商工観の連携とあるが、どのように連携を図っていくのかについて伺う。</p> <p>② 第2次豊後大野市農業振興計画に地産地消の取組について明記されていますが、これまでの取組を、市としてどのように総括しているのか。 また、今後は具体的にどのような取組によって、地産地消を推進するのかについて伺う。</p>	市長	
2 観光振興について	<p>① 市制施行10年が経過し、市内の観光イベントについて、内容や補助金等について協議すべき必要性を感じています。そのことについて、市の見解を伺う。</p> <p>② チューリップフェスタの高い集客力を参考に、長期的な計画で、市花であるボタンザクラや多年生の花等を植えることにより、後の世代が観光資源として活用できるようにしてはどうか。</p>	市長	
3 地域リーダー育成事業について	<p>① 行政だけで解決することが難しい事案とは、どのような事案か伺う。</p> <p>② 育成する人数と区割りについて伺う。</p> <p>③ 2年間のカリキュラムでどのようなことを行い、どのような人材を育成するのか伺う。</p>	市長	

15 番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 平成28年度施政方針について	<p>橋本市長、2期目の就任時に掲げた政策理念について、職員一丸となって推進することが大切である。以下、重要施策について市長の所見を伺う。</p> <p>① 地域振興協議会、6協議会32自治区のこれまでの事業評価と今後の取組について伺う。</p> <p>② 施政方針にある「日本の食料基地として農林畜産業の振興」について伺う。特に新規就農者の親元就農対策をより具体的に伺う。</p> <p>③ 子育て支援の現状と課題について伺う。</p> <p>④ 環境保全、三重原悪臭問題について伺う。</p> <p>⑤ 豊後大野市民病院の更なる充実について伺う。</p>	市長	

## 7番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 TPP参加による本市への影響は。</p>	<p>① 現段階での認識を伺います。          TPPの大筋合意で日本は、コメや牛肉・豚肉など重要5品目の3割、農林水産物全体では約81%の関税撤廃を約束しました。          この内容について、「重要5品目は関税交渉から除外し、段階的な関税撤廃も含め認めない」としてきた国会決議や、これまで安倍政権が掲げてきた公約に対しても重大な違反があると思いますが、市長の認識を伺います。          「大筋合意」したとは言え、国会の承認が無ければ国として批准することはできませんので、TPP参加はまだ決定していません。TPP参加の是非について、今改めて市長の見解を伺います。</p> <p>② 本市農林業への影響について伺います。          TPP大筋合意を受け、昨年末に影響の政府試算が発表されました。その内容は、実質GDPのプラスの影響が前回2013年の試算より4倍化して「13.6兆円の増加」となり、農林水産業のマイナスの影響が同じく前回試算より20分の1に減り「1,300～2,100億円の減少」となっていますが、まるで「粉飾」と言える試算になっています。          一方、この政府試算を分析した経済学者が行った独自試算では、実質GDPのプラスの影響は5,000億円にとどまり、農林水産業のマイナスの影響は1.6兆円に上るとのことです。          以上を踏まえ、豊後大野市における農林業への影響は、どのように試算しますか。</p> <p>③ 地域医療を守る防波堤としての市民病院を、どのように実現するのか伺います。          TPPによる医療分野への影響について、2011年3月議会で「医師が大都市へ集中し、地方の医師が不足することが懸念される。だから、市民病院が地域医療を守る防波堤になりうる」と答弁がありましたが、TPP参加の場合、これをどのように実現していくのか伺います。</p>	市長	

<p>2 JR緒方駅無人化への対応について</p>	<p>3月26日から県内で6つのJR駅が無人化され、その一つが緒方駅であると聞いています。</p> <p>JRは、住民が生活していくための交通手段として大切な役割を担っています。とりわけ、障がい者や高齢者、妊婦や子どもなどには、きめ細やかな支援も必要ですが、無人になれば、これら乗客が乗り降りする際の安全確保や、利用者サービスが失われることとなります。</p> <p>公共交通機関としての安全・安心を維持するために、緒方駅の無人化は回避すべきと考えます。</p> <p>① JRからの「駅営業体制の変更」通知以降の経緯、並びに対応を伺います。</p> <p>② 緒方駅の無人化を避けるよう、JRに申し入れるべきではありませんか。</p> <p>③ 無人化が避けられない場合でも、利用者の安全・安心の確保、観光振興の視点等から、簡易委託を受けるべきではありませんか。</p>	<p>市長</p>	
<p>3 里の旅公社が「地元と一丸」となるために</p>	<p>① 新執行体制が目指す内容について伺います。</p> <p>2月、ぶんど大野里の旅公社の執行体制が一新されました。「これまで不足がちだった地域の商工観光業者と情報交換を密にして、観光ビジネス消費の飛躍をこの地にもたらす」との決意ですが、その内容を伺います。</p> <p>② 観光イベントへの影響と対策について伺います。</p> <p>観光協会が解散するに伴い、観光協会が事務局となっていた観光イベントについても、各実行委員会や町ごとの観光振興協議会が主体となって運営されることになりました。このことは解散前から説明されてきたとはいえ、解散前には想定しえなかった問題が発生していますが、市はどのように対応したのでしょうか。</p> <p>またこれらのイベントが、観光協会解散前と同様に扱われるよう、手立てを行うべきではありませんか。</p> <p>③ 「ロジきよかわ」の名称について伺います。</p> <p>条例で「豊後大野市奥嶽川自然公園井崎河川公園キャンプ場」の名称は変わっていません。「ロジきよかわ」というのは通称と理解していますが、広報物やホームページ等へ掲載する場合、「奥嶽川自然公園」や「井崎河川公園」の名称も併記すべきではないでしょうか。</p> <p>④ 2011年、観光協会に委託し実施された観光資源調査事業（「里見発見伝」事業）での成果物をどのようにいかすのか、伺います。</p>	<p>市長</p>	



#### 4番 小野勇治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 給食調理場民営化について	<p>豊後大野市の学校給食の運営は合併以前より子どもたちの健全育成のため安心安全を第一とし、その理念を合併後も貫き鋭意努力を積み重ねてきた歴史を忘れてはならない。</p> <p>そのような中で、本年度より民営化を導入することには市民の同意と明らかな民間導入への道筋が説明されなければならない。</p> <p>① 行政改革を掲げて現業職より一般職への任用替えとは、どのような行政観点が行政改革になるのか。</p> <p>② 豊後大野市の責務として食育を展開する中で、民営化はこれまでとどう違うのか。</p>	市長 教育委員長	
2 ぶんご大野里の旅公社と市の関わりについて	<p>豊後大野市観光協会は発展的解消を目的に解散したが、多くの問題を残した。これを引き継ぐ平成 26 年 11 月に発足したぶんご大野里の旅公社の運営は発足当初から一般社団法人としての信頼を裏切る事案を示し、1 年以上経過した今日多くの課題を抱えている。最も必要と思われる地域との醸成、多くの観光拠点の施設と最も求められるべき人と人との良好な関係は全く構築されていない。これまでの経過について検証を求める。</p> <p>① 補助金返還など、その経緯は不信が多く、里の旅公社のあり方を問われる原点である。今をもって説明責任を果たしていない。経過とその責任の在り方を伺う。</p> <p>② 井崎河川公園は教育キャンプ場として指定されている。しかし、全くその機能が除外されている。今後市としてどう対応されるのか。</p>	市長	

12番 佐藤徳宣 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 第2次豊後大野市総合計画の防災対策の充実について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 現状と課題について伺う。</li> <li>② 施策の基本方針について伺う。</li> <li>③ 目標指標について伺う。</li> <li>④ 各種ハザードマップについて伺う。</li> <li>⑤ 以上5点、第1次総合計画との大きな相違点について伺う。</li> </ul>	市長	
2 大規模災害に備えた自治区の取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災体制を強化するため、自主防災組織を立ち上げていると思うが、現状と課題は。</li> <li>② 自主防災組織訓練の現状と課題は。</li> <li>③ 防災組織率を上げるための行政指導と支援策について伺う。</li> <li>④ 防災士の養成研修で防災の心得として自助・共助・公助があるがその比率と考え方は。</li> <li>⑤ 改正土砂災害防止法について伺う。</li> <li>⑥ 大規模災害に備えた啓発活動について伺う。</li> </ul>	市長	
3 公契約条例について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 豊後大野市には公契約条例はあるのか。</li> <li>② 市内には労働崩壊が起きていないか伺う。</li> <li>③ 指定管理を優先し、また公共事業でも単価等が必要以上に低く見積もられていないか。</li> <li>④ 低賃金ゆえに定着率が悪く、技術の継承もできなくなるスパイラルになっていないか。</li> </ul>	市長	

17番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 第2次豊後大野市総合計画（ぶんごる）における実践への市政指針について</p>	<p>① 今次計画では本市の将来像を「人も自然もシアワセなまち」と定め、本市の基本理念を基に最上位計画として基本構想や基本計画が策定されています。 豊後大野市が目指すべき筋道を市民、議会、行政が共有し、計画的かつ効率的に推し進め、協働のまちづくりを実践していくとのことでありますが、実践していくための市政指針について、その見解を伺います。</p> <p>② 計画の施策（4-2）協働によるまちづくりの推進の中で「特色あるまちづくりに取り組めるような必要な支援を行う」とあり、協働によるまちづくりを推進するとのことでありますが、特色あるまちづくりのための取組方法、支援とはどのようなことを考えているのか伺います。</p> <p>③ 計画の施策（5-3）スポーツ振興での「スポーツ施設を整備する」とあり、公共施設を見直し、現状や課題、老朽化した体育施設も含めての整備、拡充を図り、スポーツ施設の充実を図るとのことであるが、今後における整備、拡充、充実策について伺います。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 豊後大野市消防本部における救急体制の現状について</p>	<p>① 救急救命体制については、医療機関との連携の強化が課題で、一体的ネットワークの構築を目指すとのことでありますが、救急における搬送、受入れ、到達時間等はカバーできているのか、その実態、状況について伺います。</p> <p>② 救命士の任務内容が拡大されると聞き及んでいますが、救命士の研修等の取組はなされているのか伺います。</p>	<p>市長</p>	